

# 令和4年度事業計画書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

当財団は令和3年度から令和7年度まで、川口総合文化センターの管理運営に係る指定管理者の指定を受け、優れた舞台芸術作品の提供や、市民の芸術文化活動の支援に関する取り組みを開館以来、継続的に実施している。さらに地域のコミュニティーの核として、その醸成を促進し、賑わいを創出する事業を実施している。さらに効率的な運営を図るため経営に関する改革にも取り組んでいる。

令和4年度においては、近年の新型コロナウイルス感染症拡大による一部事業の停滞や縮小を回復すべく、これまで培ってきた実績と経験を最大限生かしながら、市内における芸術文化の一層の振興と、真に豊かさゆとりを実感出来る市民生活の実現のため、引き続き下記の目標を掲げ事業に取り組んでいくこととする。

新型コロナウイルス感染症の対応については、引き続き感染症対策を徹底の上、新しい生活様式を踏まえた安心・安全な運営を行っていく。

## ①当財団独自の事業展開

本市の芸術文化の創造と発信の拠点として、様々なアーティストや文化団体との協働により、芸術性の高い特色ある事業を行い、地域文化の振興を図る。

## ②文化創造・育成事業の実施

青少年による主体的な芸術文化活動を促進し、本市の芸術文化を支える裾野の拡大を図ることを目的に、市内小中学生を中心としたミュージカル団体「川口少年少女ミュージカル団」を運営し、作品の制作過程を通じた人材の育成や社会貢献する事業を行う等、市文化施設が果たすべき役割に積極的に取り組む。

## ③地域の核としての賑わいの創出と活性化

市民参加型プログラムを実施する等、本市の文化芸術団体の方々と連携した取り組みを行うことで、地域の核としての賑わいを創出する。

## 1 舞台芸術作品の提供等に関する事業

### (1) 自主企画公演等の実施

メインホール、音楽ホール、催し広場といった各施設の利用特性に沿った、芸術性の高い舞台芸術作品の提供や、市民ニーズの高い話題性のある人気アーティストによる公演等を提供する。

#### ① メインホール (8事業8公演)

4月には、その高い歌唱力とヒットソングの数々により息の長い活動と人気を誇る、高橋真梨子のツアーとしてのラストコンサートを実施する。また、7月に東京スカパラダイスオーケストラなど幅広い世代に人気のアーティストによるコンサートを実施する。9月には角野隼斗をソリストに迎え、現在女性指揮者として大きな注目を集めているマリン・オルソップ率いるポーランド放送交響楽団のコンサートを実施し、海外からの招聘による本格的なオーケストラ・コンサートを都内よりも低廉な入場料金により楽しめる機会を提供する。12月の川口市民オーケストラと川口第九を歌う会による「リリア第九演奏会」は市民参加型事業として、まさに市民のための市民による演奏会として企画した。1月のニューイヤーコンサートはリリア開館以前から市民会館で実施されていた「市民音楽会」を継承するもので、オーケストラによる名曲プログラムが毎年好評を博している。「リリアの日」事業は平成2年7月1日に当文化センターがグランドオープンしたことにちなみ、毎年7月の第一日曜日を「リリアの日」としてコンサートやイベントを開催しているが、メインホールでは医療系大学約60校の学生とOBで構成される「交響楽団はやぶさ」の演奏で映画音楽等のプログラムによるオーケストラ・コンサートを実施する。

#### ② 音楽ホール (17事業21公演)

優れた音響建築で開館以来、演奏家からも聴衆からも高い評価を得ている音楽ホールでは、これまでも世界のトップ・アーティストから新進気鋭の若手まで幅広いアーティストを起用し、クラシックを中心とした公演を実施している。当音楽ホールでの公演でデビューを飾り、現在活躍中のアーティストも多く輩出している。また埼玉県内の公共ホールでは、はじめて設置されたパイプオルガンによるコンサートも定期的に開催し、年3回実施する「ワンコイン・パイプオルガン・コンサート」は安定した来場者を確保している。世界的レベルの演奏を鑑賞できる機会としては、世界の名だたるオーケストラと協演を重ね、圧倒的な存在感を放つ、ヴァイオリニスト諏訪内晶子やベルリン・フィルの首席奏者を長らく務め、現在最高峰のフルーティストとしてわが国でも絶大な人気を誇るエマニュエル・パユ、ミラノ・スカラ座をはじめヨーロッパのオペラハウスを席捲しているメゾソプラノ歌手の脇園彩による

リサイタルを実施する。また、バッハ国際コンクールのオルガン部門で日本人初の優勝を飾って以来、精力的に演奏活動を行っている富田一樹のオールバッハによるプログラムを今回シリーズ3回目として実施する。

そのほか、リリアの友の会組織であるリリアメンバーズ会員のための優待コンサートは、一般料金より大幅に低廉な入場料金を設定し、前橋汀子ヴァイオリン・リサイタルを実施する。「いま、注目のピアニストたち（シリーズ）」は日本音楽コンクール第1位の亀井聖矢、ベルリンを拠点に世界各地で活躍中の福間洸太郎、第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール第2位受賞が大きな話題となった川口成彦といった今がまさに旬のピアニスト3名が登場する。若手アーティストの公演を継続的に実施・発信することで、次世代の発掘支援に貢献する。

一方、誰でも気軽に音楽に触れられる機会の提供や幅広い層の聴衆の確保を目的に、ミュージカル歌手として人気の田代万里生とオペラ歌手として活躍中の加未徹と坂下忠弘によるクリスマスコンサートや多くのゲーム音楽を手掛ける人気作曲家の伊藤賢治によるコンサート、山下侑によるクロマチックハーモニカ・コンサート等を実施する。音楽に接するための選択肢を用意することで、誰もが音楽を身近に感じることのできる環境を創出する。

### ③ 催し広場（2事業5公演）

催し広場の収容人数150名といった空間は、アーティストの息遣いまで聞こえる聴衆との濃密な距離感を生み、好評を博している。ピアニスト宮谷理香の演奏とお話による「リリア・ピアノサロン」はテーマを決めた年3回のシリーズコンサートとして実施している。今年度は「ロシア音楽」をテーマに多彩なゲストを迎え実施する。「リリアの室内楽」は、優れたアンサンブルピアニストであり、室内楽の名手である大須賀恵里が、構成・お話・演奏を担当し、新進気鋭から中堅まで共演者を迎え、全2回のシリーズコンサートとして実施する。

### （2）特別文化推進事業の実施

本市の芸術文化活動の拠点としての存在を広くアピールし、幅広い世代に芸術文化の体験機会を提供することを目的に教育・啓蒙プログラム等の事業を入場料無料で実施する。「リリアの日」では展示ホールにおいてJR川口駅や川口市消防局、川口警察署等の協力を得て「のりものフェスタ」を実施。「グラスフェスタ2022」は市内の複数の小学校の金管バンドによる合同演奏会として企画し、若い世代の育成につなげる。「クリスマス・オルガン・コンサート」は音楽ホールの顔ともいえるパイプオルガンの演奏を気軽に楽しんでいただく企画として応募制で実施する。「リリア茶会」は川口茶道会の協力を得て、茶道について親子を対象とした茶会を開催することで、日本の伝統文化について学ぶ場を提供し、継承して

いくことを目的とする。

### (3) 広報・宣伝等

#### ①財団情報誌「リリアプレス」の発行

財団の主催する公演や活動内容を紹介する情報誌「リリアプレス」を年6回、25,000部発行し、事業の周知、来場者ならびにチケット販売促進につなげる。行政機関・教育機関・自治会・企業等、約5,000箇所を送付する。

#### ②財団ホームページの開設

財団のホームページに催事情報と施設概要を掲載。施設の空き情報を掲載し、施設の予約抽選申し込み、また、財団主催・共催事業のチケットの予約をウェブ上で行えることで利用者の便宜を図る。また、随時SNSでの情報発信を行う。

#### ③アンケートの実施

文化事業ならびに施設利用について、広く市民からの意見を財団の運営に生かすべく、アンケートを実施する。公演時に配布を行う、館内にアンケートコーナーを設けるほか財団ホームページからも回答を行える。

#### ④その他

広報かわぐちへの情報掲載、チラシの配布、駅貼り等のポスターの掲示、音楽専門誌や新聞への広告宣伝の掲載等を行い積極的に情報発信し、事業と施設をPRする。

### (4) メンバーズ事業

財団主催・共催事業のチケットの優先予約や割引販売を行うことにより、顧客の定着化と拡大、チケットの販売促進を図る。

会員数：2,825人（令和4年3月末日）

### (5) 共催事業の実施

幅広いジャンルの事業を実施するため、催事を誘致し、芸術文化団体やプロモーター等が実施する公演に対し、その内容を検討のうえ施設利用料の一部を当財団が負担することにより共催事業を実施する。

#### 【予定される共催事業】

松山千春コンサート／鈴木雅之コンサート／さだまさしコンサート／劇団四季ミュージカル／落語三人会／新日本フィルハーモニー交響楽団ファミリー・コンサート／川口フェスほか

## 2 芸術文化活動の場の提供に関する事業

本市の芸術文化活動の拠点施設として、当文化センターの各施設の持つ機能を効果的に活用して施設貸与を実施する。各施設が十分活用されるよう事前の打ち合わせを舞台担当者も含めて行う等、利用者のサービス向上に努めるほか、施設の空き情報を当財団ホームページで提供する等利用率の向上に努める。

## 3 芸術文化に係る事業を推進するための付帯事業

施設利用者の便宜を図るため付帯事業を実施する。

### ①駐車場の運営

### ②チケットセンターの設置

財団主催・共催事業のチケットの販売、ならびに他会場のチケット販売を受託する。

### ③財団主催・共催事業実施時のCD等の物品販売

### ④イベント機器貸出や看板の制作等を請け負うイベントサービスの設置

### ⑤当文化センター内のレストラン事業者と連携した飲食サービス、自動販売機の設置

## 4 助成・補助事業

### ①文化活動支援事業（応募型）

施設を利用している市内の学校、ならびに文化団体またはアーティスト等の個人に対し、その活動費の一部を助成することにより、地域の文化振興を図る。

### ②補助事業

市内のアマチュア音楽団体が加盟する川口市民音楽協会に対して、活動費の一部を助成することにより、地域の音楽文化の振興を図る。

## 5 公益比率の目標（公益認定の基準）

公益認定法第5条第8号にもとづき、令和4年度の公益比率を76.7%とし、公益財団法人としての役割を果たします。（別紙のとおり）

別紙 公益目標比率

	公益目的事業				収益目的事業				法人	総合計
	文化振興事業	地域振興事業	共通	小計	施設貸与等事業	利用促進事業	共通	小計		
経常収益	487,038,000	204,023,000	0	691,061,000	141,712,000	7,966,000	26,697,000	176,375,000	61,030,000	928,466,000
経常費用	498,279,000	219,060,000	0	717,339,000	111,245,000	6,358,000	26,697,000	144,300,000	73,307,000	934,946,000
経常増減額	△ 11,241,000	△ 15,037,000	0	△ 26,278,000	30,467,000	1,608,000	0	32,075,000	△ 12,277,000	△ 6,480,000
事業比率	53.3%	23.4%	0.0%	76.7%	11.9%	0.7%	2.9%	15.5%	7.8%	100.0%